

2月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R2. 1. 31 文京区立本駒込幼稚園



子どもは世の宝

副園長 和島 千佳子

園庭の木々の枝には新芽がつき、日々少しずつ大きくなっています。まだまだ冬は続き、これから寒さも厳しくなると思いますが、春の芽吹きに向けての生命力を感じます。その様子が、寒さに負けず元気に遊ぶ子どもたちの姿と重なります。

1月は園の外部から講師をお迎えする機会が何度かありました。相撲、お囃子、手話など、普段の園生活とは違った体験ができる機会をもてるよう計画して行いました。それぞれの講師の方々から終了後に「見たものや感じたことを受け止めて、自分でやってみようとする意欲が素晴らしいですね」「子どもたちのキラキラした瞳にパワーをもらいました」「子どもたちの笑顔に幸せを感じました」などの感想をいただきました。講師の方々にとっても、子どもたちと触れ合っただけでよいひとときを過ごしていただいているのだということを感じ、とても温かい気持ちになりました。

私自身、子どもたちと接しながら、ふとした時に自分の子ども時代の出来事を思い出し、当時の感覚を思い出したり、大人になった今は当時とは違う捉えをする自分に気付いたりすることがしばしばあります。大人にとって、子どもと接することが、誰もがかつては子どもだったことを思い出したり、自分の子ども時代を捉え直したりするきっかけになるようです。

一人一人の子どもの存在はかけがえのないものです。園は、ご家庭の信頼を受けてお子さんの保育を行う場所であるとともに、子どもたちと地域や世の中をつなぐという大切な役割を担っているのだと、改めて身の引き締まる思いがします。

今年度も残りわずかとなりました。自分の思いや考え、もっている力を発揮して過ごせるようにし、子どもたちが自分の成長を実感し進級や就学への期待が高まるようにしていきます。

<わくわく相撲>



<わくわく音楽会>



<手話体験>

